

保育所完全米飯給食事業

施策のポイント

当町は、農業が主産業の町であり、小中学校の給食では、県内他市町に先駆けて、完全米飯給食を導入した。そして、平成22年4月より、保育所においても、米飯持参の給食から完全米飯給食に移行し、食育、地産地消の推進、家庭の負担の軽減を図ることとした。

自治体情報

石川県川北町

人口 / 6,017人

標準財政規模 / 2,177,324千円

担当課 総務課

電話番号 代表 076-277-1111 内線 211

実施主体 川北町

関連ホームページ <http://www.town.kawakita.ishikawa.jp>

事業期間 平成22年度から

参考とした施策

関係施策分類 ③

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

当町は、手取川のもたらす豊富な水と肥沃な土壌により、県内有数の穀倉地帯として発展してきた稲作を中心とした農業が基幹産業の町である。米どころということで、小中学校の学校給食においては、県内他市町に先がけて、昭和45年から完全米飯給食を実施しており、その後、平成4年に給食米へのコシヒカリの導入、平成15年には一等米を利用するようになり、現在に至っている。

一方、保育所（全て公立）では、0・1・2歳児には、ご飯を含めた全て（離乳食を含めて）を給食として、提供しているが、3・4・5歳児には、米飯持参の副食給食を行っていた。この状況の中で、平成22年4月より、3・4・5歳児に対しても、完全米飯給食を実施することとした。

2 取り組みの具体的内容

保育所での完全米飯給食にあたっては、年間のお米代、不足する飯椀代、必要な調理機材代を予算化し、4月より保育所全児童に対して完全米飯給食を実施している。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

この事業の実施により、温かいおいしいご飯を提供できるようになり、米に対する関心を高めるとともに、消費量が増えることが想定される。また、お米は地元産のコシヒカリで、地産地消にも資すると思われる。そして、完全米飯給食を通じて、幼い頃からの食育の面での効果が期待される。さらに、保護者の負担の軽減を図ることができると考えられる。

4 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

当町では保育所ごとに調理場があり、導入にあたっては、米の保管、収納スペースの問題、調理場での混雑、手間の増加などが懸念された。保管、収納に関しては、地元JAと協議し、一週間分の米を精米して納品してもらうことで解決し、さらに精米したてのより一層おいしいご飯が炊けるようになった。また、調理場での混雑には、保育士が各クラスで配膳することで対応し、食器を手洗いしていた保育所では、食器洗浄機の導入により、手間の軽減を図った。

5 今後の展開と課題

国内での米の消費量は年々減少している。これは、稲作を中心とした農業が基幹産業である当町においては、由々しき事態であり、米の消費量を増やすことは、町においても、また国においても、重要な課題であると考えている。このような観点から、保育所での完全米飯給食の実施により、町の負担は増加するが、温かくおいしい地元産のご飯を子どもたちに提供することは、米や食に対する関心を高め、米消費拡大に大変有益であると考えている。今後は、保育所の活動の中でも、「食育」や「地産地消」に関する取り組みをこれまで以上に行い、さらに、保護者に対する「食」への理解を深めることが重要であると考えている。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
4,000千円		0千円	0千円	0千円	0千円	4,000千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					